

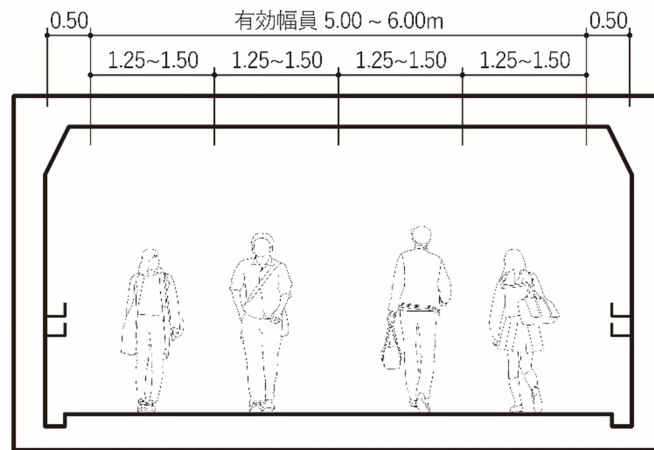
令和4年11月25日

地下通路計画

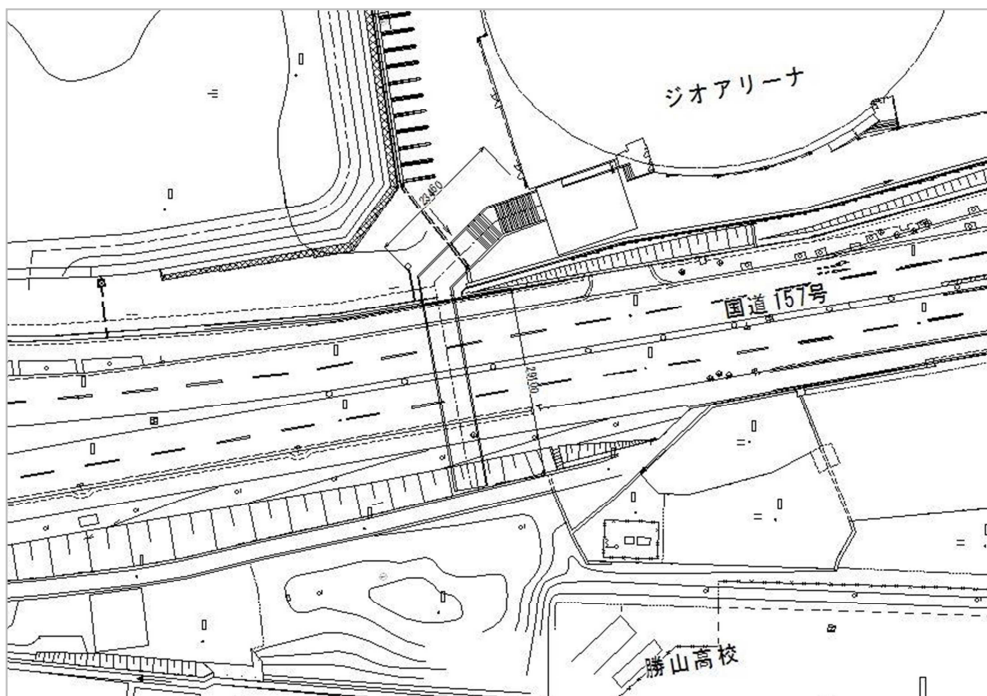
1. 基本構造

基本的な形状や構造について以下のとおりとします。

- ・ボックスカルバート（内空 5,000～6,000×3,000、L=約30m）
- ・片側2人の対面通行（土足帯と内履き帯）
- ・ジオアリーナと地下通路の高低差は約4.8mあり、階段での移動とします。
- ・地下通路と新中学校校舎の高低差は約1.2mあり、スロープと階段での移動とします。



断面計画イメージ図



平面計画イメージ図

2. 道路法に基づく占有条件の整理

- ・地下通路の設置については、道路法に基づく国道 157 号の占有許可が必要となるため、道路管理者の福井県と協議を行う必要があります。

3. 施工方法

- ・国道 157 号の切り回し等を行い、仮設土留めを使用した開削工法を検討する必要があります。

4. 地下埋設物等調査

- ・国道 157 号を占有する地下埋設物（電気通信線、上水道管等）が確認されたため、関係機関と協議し、施工に必要な対策を講じることとします。

5. 防災・防犯対策

- ・想定外の大雨時などで地下通路の入り口が浸水する可能性も考慮し、浸水防止用設備（止水板等）の整備も検討します。
- ・防犯監視システム（防犯カメラや赤外線センサー、インターホン等の防犯設備）を設置し、見通しが困難な場所や死角となる場所の状況把握、犯罪企図者の侵入防止や犯意の抑制、生徒等の安心感の醸成等、学校の状況を踏まえた防犯対策とします。
- ・緊急事態の発生を関係者に迅速かつ適確に伝達するため、防犯ベル・ブザーや非常押しボタン等を適切な場所に設置することを検討します。
- ・防犯対策に係る施設・設備については、定期的に、また、必要に応じて臨時にそれらの機能について点検・評価し、不都合が生じている場合は、迅速に改修、修理、交換等の改善措置を講じます。
- ・防犯カメラなどの機械警備の設置だけでなく、安全管理に関する運営体制として警察等の関係機関や各種団体と連携し、ソフト面も整合性が取れるように進めていきます。